

科目名 :	税理士のための財務諸表論IV			科目コード	EJ29
科目主査 :	齊藤 聰 担当講師 : 宮地 昌之、依田 朗裕			単位	2
				配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク : <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		個人ワーク : <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けることです。また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることです。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になります。E J 26～E J 30（税理士のための財務諸表論 I～V）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結します。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨します。 *EJ28（税理士のための財務諸表論III）からの継続授業となります。税理士になるために、大学院への進学も勧めています。</p>					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名 :			
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、重点点や分からぬ点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。				
テキスト	『税理士 財務諸表論の教科書&問題集（4）』 T A C 税理士講座（編），T A C 出版，最新版				
この科目的到達目標	①財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。 ②企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。 *E J 26～E J 30（税理士のための財務諸表論 I～V）全体としての到達目標となる。				
成績評価の方法	授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。				
事後学習	授業中に取り上げられる会計処理は限られます。新聞、情報、ネットを利用して最新情報にあたりましょう。				
事後学習の参考文献	『新版 会計法規集』 中央経済社 『税理士 財務諸表論 理論答案の書き方 最新版』 T A C 税理士講座（編），T A C 出版 『税理士 財務諸表論 計算問題の解き方 最新版』 T A C 税理士講座（編），T A C 出版				
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 電卓（大きめが望ましい） <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。					